

# スポーツの競技力向上に向けた環境整備

平成24年度補正予算案 63億円

## (独)日本スポーツ振興センターの財務基盤の強化に必要な経費 (50億円)

オリンピック・パラリンピック東京招致及び今後の国立霞ヶ丘競技場のあり方を見据え、(独)日本スポーツ振興センターの財務基盤の強化に必要な経費について、同法人に対して出資するものである。

具体的には、オリンピック等の国際競技大会の招致・開催に向けて計画していくものとし、当面、「最先端スポーツ診療用磁気共鳴映像装置システム整備」などの国立スポーツ科学センター施設整備を行う。



屋内トレーニングセンター



国立スポーツ科学センター

## 国立代々木競技場等施設整備事業 (13億円)

独立行政法人日本スポーツ振興センターが所管する「国立代々木競技場」及び「国立霞ヶ丘競技場ラグビー場」について、施設の老朽化等が進んでいることから、観客の安全確保や利便性の向上を図ることを目的として実施するものであり、競技場利用率の向上や観客数の増加、国内、国際大会の増加を契機としたスポーツツーリズムや経済の活性化などに多大な効果が期待されるものである。

### 1. 国立代々木競技場整備

- ・電力(低圧)幹線設備改修工事
- ・大型電子掲示板設置工事 など

大型電子掲示板(設置前)



大型電子掲示板(設置後イメージ)



### 2. 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場整備

- ・北スタンド防水改修工事
- ・北スタンド座席取付工事(約2,600席) など

北スタンド改修前



北スタンド(座席取付後イメージ)

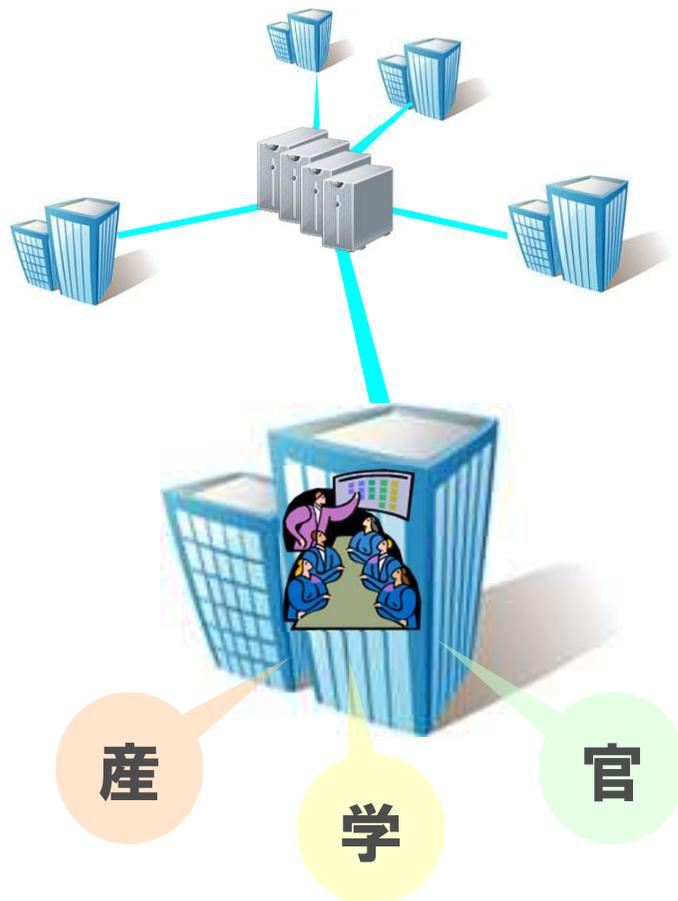


※屋根は付けない

# 地域資源等を活用した産学連携による 国際科学イノベーション拠点整備事業

平成24年度補正予算案：500億円

大学等の研究ポテンシャルや地域資源等を柔軟に活用し、新たな産業や雇用を創出するため、企業だけでは実現できない革新的なイノベーションを産学官連携で連続的に創出し、日本経済を再生に導く研究開発を推進することが重要である。本事業は、産学官が人材、設備、知財を一つ屋根の下で共有して革新的課題の研究開発に取り組む「場」を構築することで、イノベーション創出を促進する。



将来的な社会的ニーズに基づく革新的な研究開発課題が設定されているかなど、テーマの革新性や産学官連携体制などの要件を満たす機関（大学等や科学技術関連法人）が「場」を構築することでリスクの高い領域における民間の研究開発意欲を引き出す。

## 拠点の要件(例)

- ◇産学官が一つ屋根の下で研究し、知識・人材が行き来する拠点
- ◇異分野が一つ屋根の下で研究し、交流・融合が行われる拠点
- ◇我が国の先端研究施設とのネットワークを構築し、我が国の科学技術力をフル活用する拠点
- ◇将来の社会的ニーズに基づく課題を解決するための革新的なイノベーションを創出する拠点
- ◇地域資源等の活用により、我が国全体に裨益する成果をもたらす拠点

計10拠点程度

## 【支援内容】

- ◇産学官共同設備機器、施設の整備
- ◇高度研究施設とのネットワーク構築

産学官のオープンイノベーションや分野融合研究を促進

「場」を起点とした官民の科学技術イノベーションによる経済再生

## 背景

- 科学技術基盤の形成の中心的存在である国立大学等において、基礎研究から実用化までのイノベーション創出のための環境整備の強化が不可欠。
- このため、国立大学等が地域の企業等と共同研究等を推進するためには、基盤的な設備の充実が必要。

- 地域発のイノベーションを推進するためには、「知の拠点」である国立大学等に、地域へ開放できる基盤的な設備の充実が必要。

## 対応

地域発のイノベーション創出を強力に推進するため、地域の企業等も活用できる国立大学の基盤的な研究設備を整備(56大学等89件)

### 【設備の例】



静岡大学  
多機能X線光電子分光システム

有機材料、無機材料、半導体材料、触媒、生体材料など様々な材料の解析を行い、ナノテクノロジーに基づいた先端材料開発ならびに次世代デバイス開発を行う



長岡技術科学大学  
放電プラズマ焼結装置

従来の焼結方法では作製困難な、金属・セラミックスなどの複合材料や高融点材料などの焼結を行うことで、新素材開発を行う

# 「心のノート」活用推進事業

平成24年度補正予算案  
7億円

児童生徒が身に付ける道徳の内容を分かりやすく表し、道徳的価値について自ら考えるきっかけとし、理解を深めていくことができるような児童生徒用の冊子として、「心のノート」(平成25年度使用分)を全ての小・中学生に配布・活用し、道徳教育の充実を図る。

## 全国の小・中学校に在籍している全児童生徒に心のノートを配布・活用

### 小学校1・2年生用

- むねをはっていこう
- 心と心をむすぼう
- いのちにふれよう
- みんなと気持ちよくいよう など



### 小学校3・4年生用

- かがやく自分になろう
- 人とともに生きよう
- いのちを感じよう
- みんなと気持ちよくすごそう など



授業のなかで

休み時間に

様々な  
活用の場面

自分ひとりで

家庭や地域で

### 小学校5・6年生用

- 自分の一日は自分でつくる
- 心と心をつなぐネットワーク
- 今生きているわたしを感じよう
- ぐるりとまわりを見渡せば など



### 中学生用

- 自分を見つめ伸ばして
- 思いやる心を
- この地球に生まれて
- 社会に生きる一員として など



# いじめ対策の推進(スクールカウンセラー等)

平成24年度補正予算案：3億円

昨今、いじめが背景事情として認められる生徒の自殺事案など、子どもの生命・身体の安全が損なわれるような事案が発生。



文部科学省が実施した「いじめに関する緊急調査」では、4月～9月の半年間でいじめの認知件数は約14万4千件（H23年度1年間の認知件数は約7万件）。  
また、認知件数のうち、生命・身体を脅かす重大な事案は278件。



このような状況を踏まえ、いじめ問題について児童生徒が速やかに相談できるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、教育相談体制の充実を迅速に行う必要がある。

## スクールカウンセラー等活用事業

(平成24年度当初予算額：  
学校・家庭・地域の連携協力推進事業8,516百万円の内数)

補助率：1/3

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者

- ・児童生徒へのカウンセリング
- ・教職員に対する助言・援助
- ・保護者に対する助言・援助

中学校への配置 8,252校  
小学校への配置 11,690校



↓  
配置時間の増 平成24年度補正予算案：231百万円

## スクールソーシャルワーカー活用事業

(平成24年度当初予算額：  
学校・家庭・地域の連携協力推進事業8,516百万円の内数)

補助率：1/3

教育と福祉の両面に関して、専門的な知識・技術を有するとともに、過去に教育や福祉の分野において、活動経験の実績等がある者

配置人数：1,113人



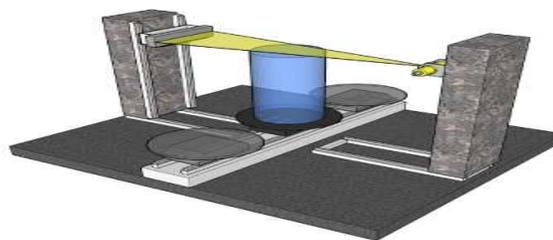
↓  
配置時間の増 平成24年度補正予算案：48百万円

**○国立文化施設の緊急防災改修工事**
**44億円**
**【概要】**

国立文化施設は、施設・設備等の老朽化により、日常の点検・整備等だけでは来館者や出演者等の安心・安全の確保が困難な状況に陥っている。このため、我が国の文化発信のために必要な安心・安全を確保できるよう措置を講ずる。



東京国立近代美術館フィルムセンター  
相模原分館重要文化財映画フィルム  
収蔵庫緊急改修工事等



東京国立博物館大型X線CTスキャナ  
緊急設置工事等



新国立劇場オペラ劇場天井落下防止  
対策補強工事等

**○国立文化施設等の観覧機能強化による地域の活性化**
**39億円**
**【概要】**

国立文化施設等における展示内容の充実や来場者等へのサービスの充実を図るとともに、地方公共団体や観光業界等と連携し、国立文化施設等の魅力を国内外に発信することにより、安全で快適な観覧環境の提供とともに観光客の誘致等による地域の活性化を図る。



東京国立博物館本館改修工事等



国立科学博物館地球館Ⅰ期展示改修工事等